

ぐんま緑の県民基金 市町村提案型事業の評価

(H30 年度開始事業・R2 年度評価)

1. 市町村提案型事業

「市町村提案型事業」は「ぐんま緑の県民基金事業」の一つで、5つの補助メニューにより、市町村や地域の皆様が行う森林整備などのボランティア活動を支援しています。

2. 5つの補助メニュー

1). 荒廃した里山・平地林の整備

①地域活動推進（地域住民やNPO・ボランティア団体が行う事業）

- 1) 整備 :刈払い、伐倒、その他事務費などの経費に対する補助
- 2) 苗木・資材購入:苗木の購入及び食害等に対する防除資材の購入に対する補助
- 3) 管理 :刈払い、集積、積込、その他事務費などの経費に対する補助

②市町村による地域支援

- 1) 困難地整備支援:住民等では整備が困難である箇所が対象
- 2) 機器の購入 :刈払機、粉碎機の購入費に対する補助

2). 貴重な自然環境の保護・保全

①活動支援

県動植物レッドリストで野生絶滅及び絶滅危惧種Ⅰ、Ⅱ類に指定されている種が生息している地域の保護・保全活動に対する補助

②付帯施設の整備

上記の活動に必要と認められる施設整備に対する補助

3). 森林環境教育・普及啓発

①森林環境教育

児童生徒や県民を対象とする森林環境教育及び森林体験活動に対して支援する

②普及啓発

森林の機能や重要性について普及啓発をはかる事業に対して補助します

4). 森林の公有林化

①水源地域森林の公有林化

水源地域の森林を公有林化する市町村を支援します

②平地林の公有林化

平地林を公有林化あるいは造成しようとする市町村を支援します

5). 独自提案事業

県民税の趣旨・目的に適合し、「ぐんま緑の県民税評価検証委員会」の承認を得た市町村が実施する事業に対する補助

3. 市町村提案型事業の評価について

3-1 目的

ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業の実績や事業実施に伴う効果について、ぐんま緑の県民税評価検証委員会において評価を行い、県民に公表するものとするため、補助事業者及び地域評価者を対象としてアンケート調査を実施し、評価を行うための判定因子とする。今年度は事業開始から3年目の箇所（平成30年度開始箇所）を評価していただきます。

H30年度（初年度）	R1年度（2年目）	R2年度（3年目）
例) 困難地整備支援 ○○市□□地区 竹林1.00ha 実施団体：○○市	例) 管理 ○○市□□地区 竹林1.00ha 実施団体：□□自治会	例) 管理 ○○市□□地区 竹林1.00ha 実施団体：□□自治会

同一箇所

3-2 アンケート調査対象者

- 補助事業者：事業に取り組んだ団体等
(市町村、NPO法人、ボランティア団体、自治会など)
- 地域評価者：補助事業者が実施した事業内容について客観的な視点に基づき判断できる者
(市町村)

3-3 アンケート区分について

3-3-1 実績調査書

事業が採択された計画どおり(コスト、目的、管理体制)に実施されたか。
(事業完成後、補助事業者から実績報告書とともに提出)

3-3-2 効果調査書（公共性と効果の可視化）

公共性の判断のために地域への波及効果（地域の意見、利益、主体性、事業の継続性、波及効果、意識の向上）を尋ねるもの。
(事業開始から2年経過年度末に、市町村から提出)

3-4 アンケートの具体的な手法

5段階評価及びコメント型の2つの手法

5段階評価	「よい」・「わるい」、「できた」・「できない」などの、対となる言葉を両極にとり、その間をスケール化（5段階）し、回答者の印象やイメージを定量的に明らかにするための手法。
コメント型	5段階評価（定量的）では把握できない内容について、回答者が自由に記述することにより、内容を把握するための手法。

設問

事業区分	実績調査	効果調査（公共性）	効果調査（効果の可視性）
	補助事業者	地域評価者	地域評価者
（設問数）	○（4）	○（2）	○（3）

5段階評価の判定区分（A、B、C判定）

アンケートの5段階評価の結果については、設問毎の点数を合計し、3つの区分で判定。

判定	内容
A	取り組みが特に優れており、模範となり得る
B	現状の取り組みが十分である
C	現状の取り組みには課題があり、改善が必要

なお、設問毎の点数の合計の区分については、下表の判定基準による。

区 分	判定	判定基準（点数）
I 実績	A	15 ～ 20
	B	10 ～ 14
	C	4 ～ 9
II-1 効果	A	8 ～ 10
	B	5 ～ 7
	C	2 ～ 4
II-2 効果	A	11 ～ 15
	B	8 ～ 10
	C	3 ～ 7
合 計	A	32 ～ 45
	B	23 ～ 31
	C	9 ～ 22

資料5

事業名	箇所数	アンケート結果による判定					備考
		内訳	A	B	C	未回答	
荒廃した里山・平地林	57	箇所数	33	21	3	0	
		構成比%	58%	37%	5%	0%	
荒廃した里山・平地林 【機器の購入】	1	箇所数	1			0	
		構成比%	100%	0%	0%	0%	
貴重な自然環境の保護・保全	3	箇所数	3				
		構成比%	100%	0%	0%	0%	
森林環境教育・普及啓発	4	箇所数	3	1			
		構成比%	75%	25%	0%	0%	
森林の公有林化	0	箇所数	0				
		構成比%					
独自提案事業	2	箇所数	2	0			
		構成比%	100%	0%	0%	0%	
合 計	67	箇所数	42	22	3	0	
		構成比%	63%	33%	4%	0%	